

(別紙1)

全身性障害者移動介護従業者養成研修課程カリキュラム

教科名	学習内容	修得に必要な時間数※
I 講義 12時間		
1 障がい者福祉に係る制度及びサービスに関する講義（3時間）		
(1) 障害者総合支援制度とサービス	・障がい者（児）福祉の背景と動向 ・障害者自立支援制度とサービスの種類、内容とその役割	2
(2) 移動介護の制度と業務	・移動介護の制度 ・移動介護従業者の業務	1
2 身体障がい者居宅介護等に関する講義（3時間）		
(3) 居宅介護概論	・居宅介護の社会的役割 ・居宅介護の制度と現状 ・居宅介護業務の基本 ・関連機関との連携	2
(4) 居宅介護従業者の職業倫理	・福祉業務従事者としての倫理 ・居宅介護においてとるべき基本的態度	1
3 全身性障がい者の疾病、障害等に関する講義（2時間）		
(5) 重度肢体不自由者（児）における障害の理解	・肢体不自由の原因疾患（脳性まひ、脳血管障害、頸髄損傷など）及び症状の理解 ・肢体不自由者（児）の社会参加 ・移動介助の際の留意点	1
(6) 介助に係わる車いす及び装具等の理解	・車いすの構造と機能 ・電動車いすの構造と機能 ・重度肢体不自由者用の車いすの構造と機能 ・装具や自助具等の機能	1
4 基礎的な移動の介護に係る技術に関する講義（3時間）		
(7) 姿勢保持について	・良好な姿勢の必要性 ・良好な姿勢保持の方法 ・姿勢保持の留意点	1
(8) コミュニケーションについて	・言語障害の種類と特徴 ・言語障害のある人への接し方	1
(9) 事故防止に関する心がけと対策	・事故防止のための移動の留意点 ・事故時の対応 ・安全な食事介助 ・介助者自身のからだの保護	1

教 科 名	学 習 内 容	修得に必要な時間数
5 障がい者の心理に関する講義（1時間）		
(10) 障がい者（児）の心理	・障がい者の心理と人間関係 ・肢体不自由者の心理的特徴	1
I 演習 4時間		
1 車いすでの移動の介護に係る技術に関する演習（4時間）		
(1) 抱きかかえ方及び移乗の方法	・床と車いすの移乗 ・ベッドと車いすの間の移乗 ・2人の介助者で行う場合	1
(2) 車いすの移動介助	・車いすの取扱い方 ・車いす移動介助における注意（雨の日） ・平地での移動 ・階段における移動 ・エレベーター、エスカレーターの利用 ・乗り物を利用する場合の注意 ・歩行移動介助方法の留意点	2
(3) 生活行為の介助	・食事の介助方法 ・衣服着脱の介助方法 ・排泄の介助方法	1

※1時間を60分とする

(別紙1)

同行援護従業者養成研修一般課程カリキュラム

教科名	学習内容	修得に必要な時間数※
I 講義 8. 5時間		
1 視覚障がい者（児）の福祉サービスと同行援護の制度に関する講義（3時間）		
(1) 外出保障	・外出保障とは ・外出保障の歴史 ・外出保障の現状	1
(2) 視覚障がいの理解と疾病①	・視覚障がいの理解 ・視覚障がいと疾病の理解	1
(3) 視覚障がいの理解と疾病②	・視覚障がいと疾病の理解(様々な見えかた・見えにくさ、主な眼疾患の特徴とその見えにくさについての支援のポイント)	0. 5
(4) 障がい者（児）の心理	・全盲の心理 ・ロービジョンの心理 ・視機能低下の心理 ・障がい発生時期の心理 ・外出時の心理	1
(5) 視覚障がい者（児）福祉の制度とサービス	・障がい者福祉の動向 ・障がい者福祉に関連する法律 ・障害者総合支援法 ・視覚障がいに関する施設等 ・障がい者を対象としたその他の制度	1. 5
(6) 同行援護の制度	・同行援護以前の外出支援制度の歴史 ・同行援護制度の概要 ・他の外出支援制度との関係 ・同行援護制度の課題	1
(7) 同行援護従事者の実際と職業倫理	・同行援護従業者の業務内容 ・同行援護従業者の職業倫理 ・同行援護の実際（様々な利用者への対応等）	2. 5
2 講義・演習 3. 5時間		
(1) 傷害・疾病の理解①	・情報提供とは ・情報提供の内容 ・場面別情報提供の実際 ・情報提供時の配慮 ・演習（3 題程度）	2

(2) 代筆・代読①	・代読（業務における代読、代読の範囲・基本的な方法、留意点） ・代筆（業務における代筆、代筆の範囲・基本的な方法、留意点・代筆できないもの） ・演習（代読1題・代筆1題）	1
(3) 代筆・代読①	・代読・代筆の具体的な方法 (代読・代筆におけるプライバシー保護や、代読、代筆を行う環境など)	0.5
3 演習 16時間		
(1) 誘導の基本技術①	・椅子への誘導・階段（スロープ、溝などをまたぐ、段差）	4
(2) 誘導の基本技術②	・基本姿勢・歩く（誘導の考え方、あいさつ、基本姿勢、やってはいけないこと、歩く、止まる、曲がる、方向転換） ・狭いところの通過、ドアの通過	3
(3) 誘導の応用技術（場面別・街歩き）①	・共通（トイレ、食事） ・街歩き（歩道、歩車道の区別ない道路、天候、踏切、グレーチング、混雑地、様々なドア、様々な階段）	4
(4) 誘導の応用技術（場面別・街歩き）②	・場面別（病院・薬局、買い物、行政窓口、金融機関、会議・研修、余暇活動、冠婚葬祭）支援技術	1
(5) 交通機関の利用	・電車の乗降 ・バスの乗降 ・車の乗降 ・船・飛行機の乗降	4

※1 時間を 60 分とする